



骨の髄まで

どろろか

Giyu Tomioka
×
Tanjiro Kamado

十八禁



義勇さん!



任務の帰り
ですか?

ああ

俺もです

:どうした
何か
急ぎの用か?

いえ!

遠目に義勇さんの
羽織が見えたから

慌てて走って
きました!

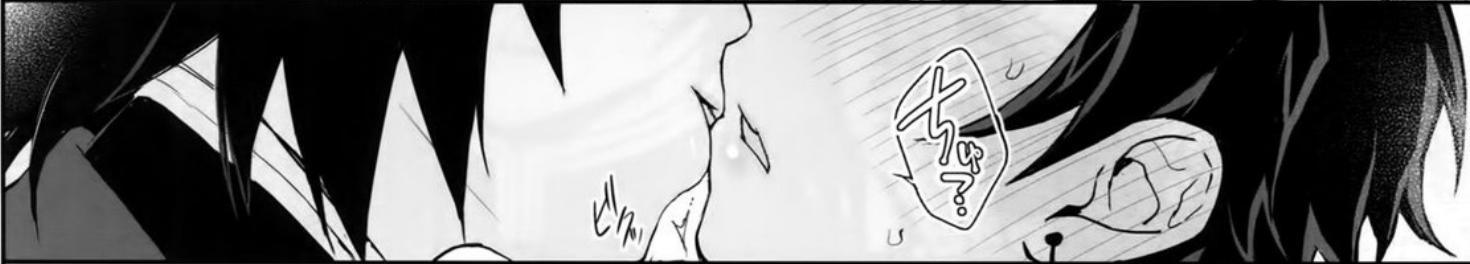
会いたかったです!!

義勇さん
俺追いつけ
ないかな
歩くの速いんだよ!!



?
どうしました

義勇さ





手を繋いだり
抱擁したり

いわゆる
そういう関係で



何でもないよ
もうすぐ
蝶屋敷に
つくからね

義勇さんは
優しくて
俺の嫌がる
ようなことを
強制したりは
しない

彌豆子
起きたのか
〜？

だけど
時々、



今みたいに
接吻したりというのは
今までも何度もあった

でも今のは
何だかいつもと
違って
凄く緊張したな

さっさと吸わけて
びろりした







ああ、
駄目だ

俺は
この人の呼び声に逆らえない

義勇さん…

もっと
してください



痛っ！

はっ



気にする！

このくらい平気です！
気にしないで下さい！！



はっ



つー！
すまない

ぼーぜん



だけど
あの一瞬



ああ・

むしろあの後
めちやくちや
凹んでる義勇さんを
見てる方が
辛かったくらいだ

義勇さんから
与えられた痛みが
怖かったんじゃない

義勇さん
ミチは倒着です!!
落ちますよ!!
義勇さん!!



吃驚はしたけど
嫌ではなかった

食べられてしまうかと思った...



なあ
炭治郎:

そういうの
少しは隠そうぜ

変に噂されるぞ



????

男同士で
そこまで
隠す必要
あるのか？

急に何を
言い出すんだ
善逸

コレだよ
コレー！！

お前いつの間に
どこのどのコと
そんなオイシイ思い
しちゃったワケー！

お前みたいなの
堅物デコ真面目が！！

はー！
一体どんな
お熱い夜を
過ごされたん
ですかねえ！

見せつけやがって！！

いたっ！

いたっ！
せんじっ

待ってくれ

さっきから
何言われてるのか
さっぱりだ

分かるように
説明してくれ

……
……
……
おん？

ほら、これ

ほんとだ
赤：黒くなってる

でもきつと
ただの
虫さされた

全然違えわ

え、ちよつと待って

手拭いで
気付かなかったけど
その横の
がつつりした歯形何？

お前の相手
ちよつと
狂暴過ぎない？
大それたぞ

何をそんなに
怒ってるんだよ

うっさいわ！
このカマトト炭治郎！
女の子に愛されて
幸せ炭治郎めっ！！



愛され…

誤解だ善逸！

は？

多分：心当たりは
あるけど
女の子じゃない！



えっ？

えっ

という
ことがあって

それで
善逸が





義勇さん!?

どうしました!?
顔が真っ青ですよ!??

喉に詰まり
ましたか!?
お水もらいます?

大丈夫ですか
義勇さん??

接吻痕
それ
だら

自分のものだって
印付けられてん
のお前

愛されてんじゃん

さつきの
義勇さんからは

あの暗がり
で嗅いだのと
同じ匂いがした

身体が熱くなつて
腰が砕けるような
俺の頭を
駄目にする匂いだ

行つても
良いのだろうか

義勇さんのお屋敷で
二人きりで
あの時の続きの
ようなことを
されてしまうの
だろうか

俺、
どうなつちやうんだらう…

びた…

びん びん

そうじゃない

義勇さんは
今までずっと
我慢してくれて
いたんだ

俺が色事に不慣れで
知識も浅いから、

義勇さんは
俺に合わせて
遠慮してた

俺がずっと
義勇さんに
我慢させてた！

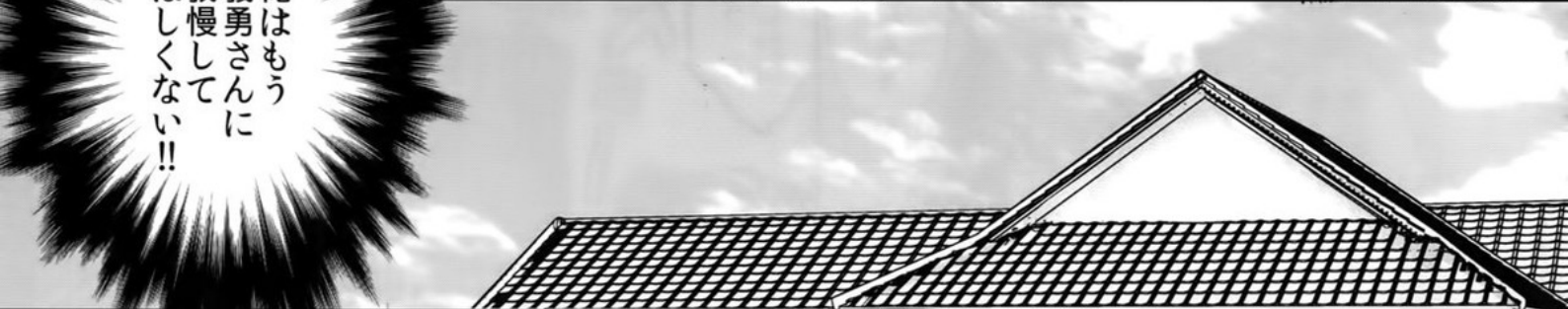


竈門炭治郎!

ふん

俺は長男だ!
なら覚悟を決める!

俺はもう
義勇さんに
我慢して
ほしくない!!



稽古を始めるぞ

遅かったな



「今度稽古を
つけて欲しい」
と言っていたのは
お前だろう

?
: どうした



?

土産



宜しく
お願いします!!

ゴッゴ



簡単なものになるが
食事の用意をするから
食べていけ

あ!
俺がやります!

てち てち てち

腹が減っただろう



今日は
ここまでと
しておく

ありがとうございます
ございました!!!

そうして
義勇さんに
一通りシゴかれ

声が小さい!!

もう一度来い!

はいっ!

はいっ!!!



義勇さん
ほっぺたに
ごはん粒
ついています



ご飯を
ご馳走になり



湯も頂き



すみません!

いや。



ふふっ

びくっ

あれ？
俺何に
来たんだっけ

いやいや！

義勇さんが
俺だけの為
に稽古をつけて
くれたんだ

凄く有意義な時間
だったことに
違いないぞ！

もつと
頑張らないと！

それに
何より

義勇さんが
楽しそうだった

何だかずっと
嬉しそうなの
良い匂いが
してたなあ：

少し
寂しいけど
俺はそれだけで
充分だ

義勇さん

義勇さん

お風呂
ありがとう
ございました

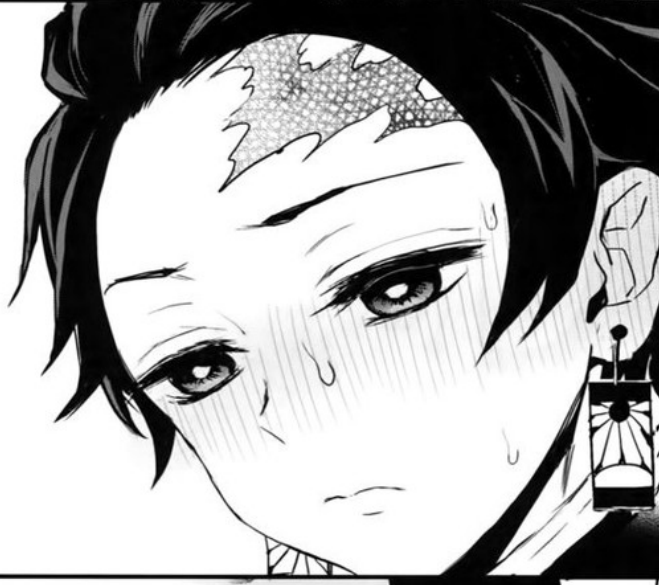
俺
そろそろお暇：



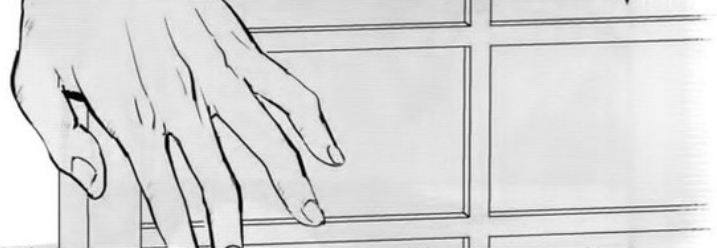
同衾

布団が一枚
枕は二つ

あ？



はっ...





用意しておいた
寝間着は
使わなかったのか

あつ：
俺着替えて

ちよん

...



気に入るな

でも折角の
清潔なお布団
汚れてしまいますし：

え、

いい
そのまま



もつと
汚れるような
ことをする

これから





どうか、

だから

俺、
がんばります

はい

だめ

「我慢」は

義勇さんの



義勇さんの
したいように…

最後まで



浅ましい

嗚呼、

…?

義勇さん？

俺はいつも

俺を赦す
炭治郎の優しさに

ギゆうさん

向けられる
この視線に

この姿に
欲情していた

最早
何もかも
止めようがない

へへ
義勇さんの
お膝の上

嬉しいけど
少し恥ずかしいです

俺
長男だから
あまり乗せて
もらうことも
無いですし

何だか
子供みたい
ですね

そのまま
口を
開けている



はい

全部
俺のしたいように
させて
くれるんだろう？

いっ



集中しろ

義勇さんに
全部見られて
しまうな：



っは、あ

ちゅん...

ちゅん



？

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

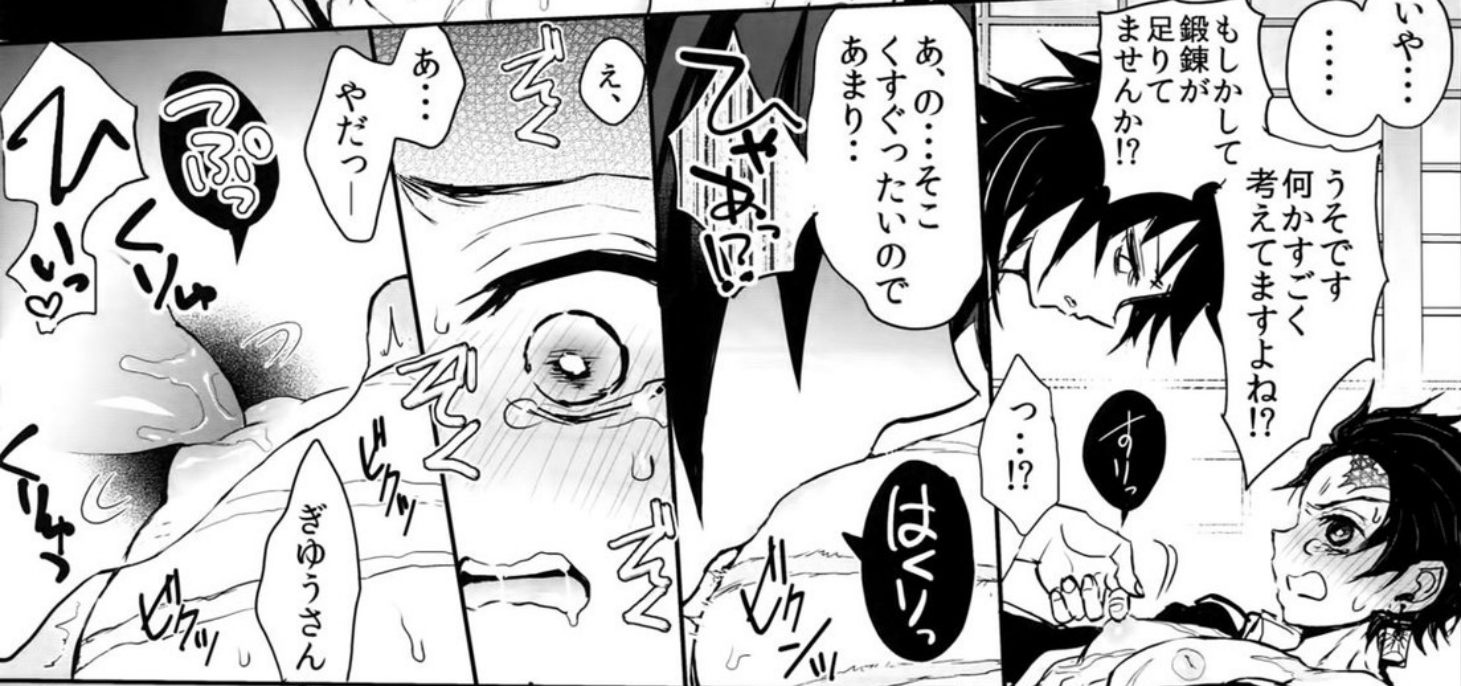
こんな
昼間にするのは
明るすぎて
緊張する



？
どう…しましたか？

俺の身体：
何か変ですか？

ひたっ…



いや…
…

うそです
何かすごく
考えてますよね！

もしかして
鍛錬が
足りて
ませんか！

あの…そこ
くすぐったいので
あまり…

くすぐる！

あ…
やだっ

くすぐる！

っ…!?
すっ



何してるんですか
…!?

だ…めです

舌で
そんな
挟っちゃ…

ちゅっ…

あっ
くすぐる！





濡れている



あ



義勇さんの指が

俺の胸に触れ

ま、待っ—!



何だ。

今更男同士で
気にするな

そ、そうですけど!
それとこれとは!

義勇さん
怒ってます…?

あ、いえ…
心の準備が:



!!?



ん



より
恥ずかしい
格好にされた
ー!!

炭治郎

少し我慢しろ

いや
この格好は
ちよつと!!!



ふん??

わあああああ
うるさい

義勇さん!
そこお尻の穴!
触ったら汚いです!!

男同士では
ここを使う

えっ...!?



:無理そうなら
やめ

やめません!!!

:だったら

自分で
足を開いて持て

恥かき...
我慢しろ!!

少し
待ってる

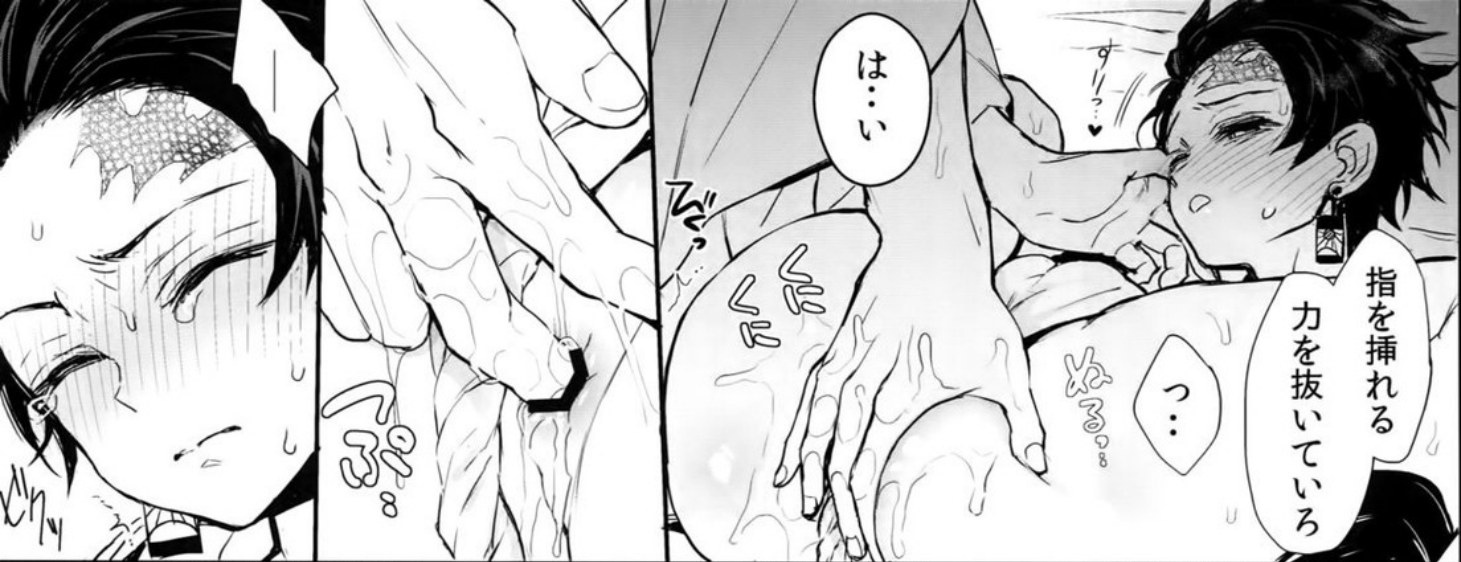


??
義勇さん??

ぬん...



ん...



はい

指を挿れる
力を抜いている



義勇さんの
指の形を
感じてしまっ

変な感覚だ

ゆっくり
抜き挿しされて



炭治郎

痛くはないか

指を増やすぞ



はい

あ





心配するな

男にも
そういう部分が
あるというだけだ



キチャいします

何かくるっ

俺、もう、
おかしくなる

義勇さん、
見ないで



義勇さん

たすけて

ぎゆうさん

こわい



炭治郎

きもちいいのが
止まらない...

んあっ...♡



お前の
ここに
入りたい



俺を
貴方のものにして

あの時の続き、
してください

はい



俺を全部 食べてください







おなか…
あつい

ぎゆうさんの
こだね
そそがれてる…

ドク



あ…あ…あ

おれ…いま、

しあわせです

あ、炭治郎〜！

どこ行ってたんだよ

善逸：

今状況不利だから
お前も加勢してー

：何その恰好
隊服は？

よ、汚しちゃって…

何か雰囲気
変わるね

預けてた予備に
着替えてから
声掛けようと思
ってたんだけど…

禰豆子く

ん…？
なんだテメー

すんすん

禰豆子と
遊んでくれて
ありがどうな

何の遊び
してたんだ…？

半半羽織の
匂いか…？

ぶんぶん
させやがって

：朝からずっと
一緒にいたのか？

かあ
あ
あ

唐突に全ての
辻褄が合って
動揺する他無い
我妻善逸

はっ！

まさかお前ら…

それに
歩き方
ぎごちねえし

首も何巻いてんだ

怪我なら
しのぶに
診てもらえよ！
後でバレると怖えぞ

待って！
このクソイノシシ
禰豆子ちゃんの前で
何言い出す気!?



隠れて稽古して
やがったな!?

ズギャ



：う、うん。
稽古はしたよ……
したな……

一人でズリイぞ!

とてつらい

ごめんな伊之助……

何その含みのある
言い方……

炭治郎、
形相も音も
凄いことにな
ってるし……



その後も度々
理由の説明に
苦労する
炭治郎だった

アヤシイぜあいつら!
ユソユソしやがって!

新技の開発か!?

おい紋逸!

もーバカバカバカ!

俺絶対詮索しない!!!
何も知りたくない!!!

おしまい

←←ここから先はwebに上げた義炭漫画の再録となります。

月を見る度思い出す



隣座つても
良いですか？



義勇さん
ここに居たんですね



月がきれいだな

：今日は



わあ
本当ですね

何だか
不思議な気分です

鬼殺隊に入る
前も後も
月はずっと
変わらない
筈なのに

今ではあまり

こうして
見上げなく
なりました

月を見る度
いるんことを
思い出すから

夜は奴らの領分で

今日の月を
きれいだ
と
思えたのは

でも、
だから
きつと

義勇さんと
一緒だからですね

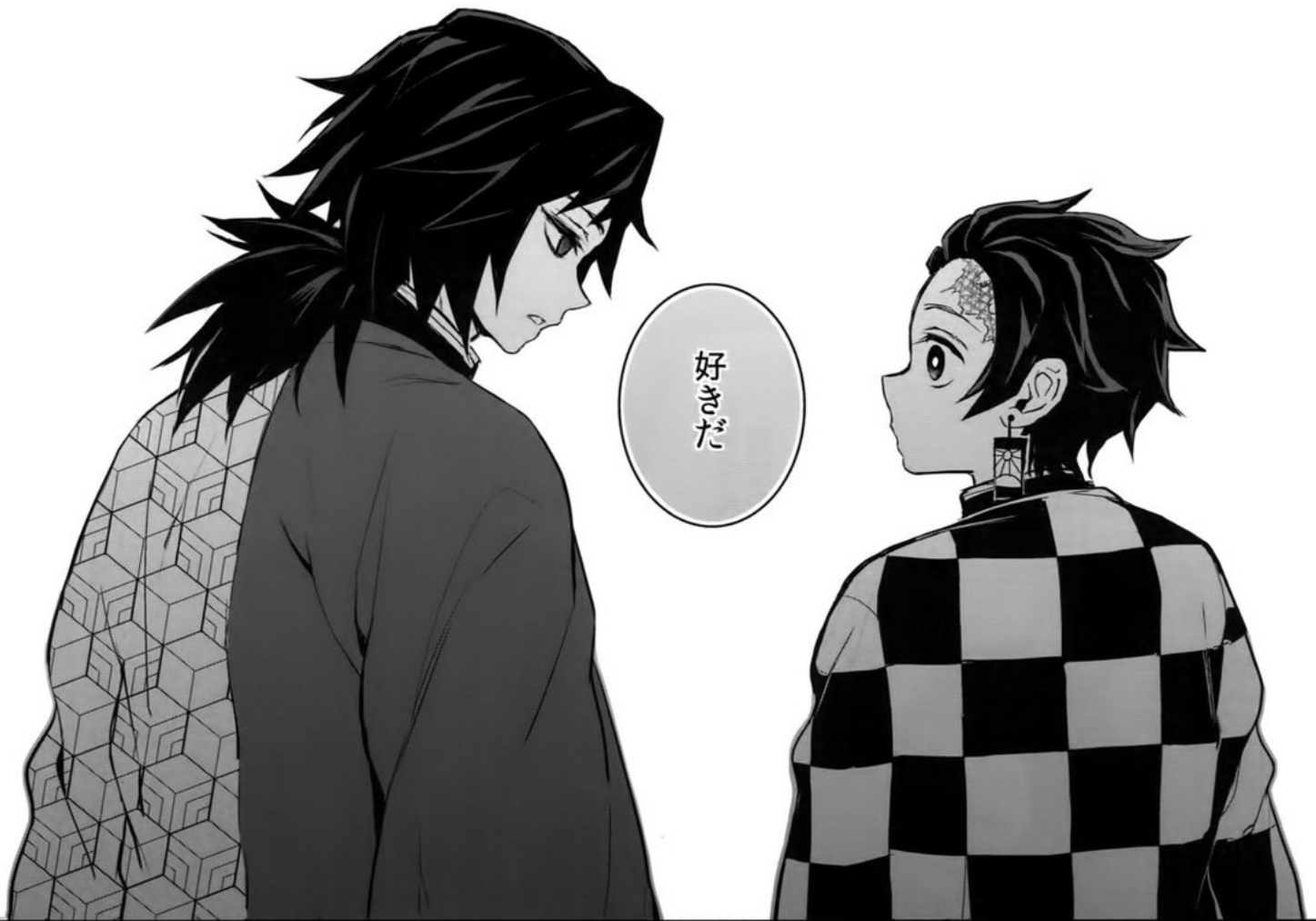


炭治郎



はい





好きだ







：分かって
もらえましたか？





ゆ



義勇さ…



俺はもう
お前を放してやれない

それでも良いのか



ここまで読んで頂きありがとうございます。
あとがきを書くのが苦手なので本題のみ手短に。
今回制作時間の関係で、描きたかったえっちの後のいちゃいちゃ…
もといピロートークを入れることができなかったのもので、
後日描いてプライベートか何かでpass制で公開しようかと思っています。

passは「ぎたんのあいま」にするつもりです。よろしくおねがいします！

次の本はヒノカミ衣装えっちぎゆたん本とか、
初夜以降のひたすらえっちしてるのとか描きたい…えっちを描きたい。
義炭、初夜以降が本番なんだ…。

goshi

pixiv:id=171867
twitter:@terepirin
mail:hanadablue@yahoo.co.jp

どうか、骨の髄まで

2019/09/15

テレピリン/goshi

mail : hanadablue@yahoo.co.jp

twitter : @terepirin